

第4期中長期目標期間における研究開発の計画案
(事前評価(第2回)) 評価シート

評価者	委員
評価日	2022年 月 日

評価項目:

①研究開発課題の選定の妥当性(効果・効用(アウトカム)の観点を含む)

<自己評価>

・第3期中長期目標期間における中間評価及び全体の成果を踏まえ、エネルギー基本計画や第4期中長期目標策定に関する国の方針や議論等に基づいたフレームの中での研究開発課題となっている。また、原子力機構全体の取組方針とも整合した課題としている。

<評価の結果>

評価	<input type="checkbox"/> : 妥当 <input type="checkbox"/> : 要改善
コメント	

※<評価の結果>の評価欄のいずれかにチェックをいただき、その補足としてコメントをご記入お願いします。

第4期中長期目標期間における研究開発の計画案
(事前評価(第2回)) 評価シート

評価項目:②方向性・目的・目標等の妥当性(効果・効用(アウトカム)の観点を含む)

<自己評価>

・計画については、エネルギー基本計画及び第4期中長期目標策定に関する国の方針や議論などに
基づき、多角的視点に立ち、目的(①地層処分の技術基盤の整備、②新たな研究システムとして将来を見据えた研究開発による成果の他分野への展開、③幅広い選択肢を確保する観点での代替
処分技術に関する研究開発、④研究活動を通じた社会との協働・還元)、目標等を定めた。

<評価の結果>

評 価	<input type="checkbox"/> : 妥当 <input type="checkbox"/> : 要改善
コメント	

※<評価の結果>の評価欄のいずれかにチェックをいただき、その補足としてコメントをご記入をお願いします。

第4期中長期目標期間における研究開発の計画案
(事前評価(第2回)) 評価シート

評価項目:③研究開発の進め方の妥当性

<自己評価>

・研究成果の最大化を図るため、実施主体、国内外の研究開発機関等の技術協力や共同研究等の活用、特に幌延深地層研究センターの国際拠点化を進め、効率的・効果的に研究開発を進める計画となっている。また、実施主体が行う地質環境調査、処分システムの設計・安全評価、国による安全規制上の施策等のための技術基盤を、最先端のデジタル技術を取り入れつつ整備し、提供することとしている。

<評価の結果>

評 価	<input type="checkbox"/> : 妥当 <input type="checkbox"/> : 要改善
コメント	

※<評価の結果>の評価欄のいずれかにチェックをいただき、その補足としてコメントをご記入をお願いします。

第4期中長期目標期間における研究開発の計画案
(事前評価(第2回)) 評価シート

評価項目:④研究資金・人材等の研究開発資源の配分の妥当性

<自己評価>

・研究開発資金のうち、運営費交付金は減少傾向にあり、非常に厳しい状況にあることから、国際連携の活用とともに、外部資金の獲得などを図りつつ取り組む計画としている。

<評価の結果>

評 価	<input type="checkbox"/> : 妥当 <input type="checkbox"/> : 要改善
コメント	

※<評価の結果>の評価欄のいずれかにチェックをいただき、その補足としてコメントをご記入お願いします。

第4期中長期目標期間における研究開発の計画案
(事前評価(第2回)) 評価シート

評価項目:⑤国内外他機関との連携の妥当性

<自己評価>

・これまでの国内外の他機関等との連携の他、幌延深地層研究センターをアジア地域の地層処分に関わる国際拠点として、深地層での研究開発を多国間で協力しながら推進するための国際共同プロジェクトに向けた取り組みとそれを軸とした国内外の技術者や研究者の育成を進める計画としている。

<評価の結果>

評 価	<input type="checkbox"/> : 妥当 <input type="checkbox"/> : 要改善
コメント	

※<評価の結果>の評価欄のいずれかにチェックをいただき、その補足としてコメントをご記入をお願いします。

第4期中長期目標期間における研究開発の計画案
(事前評価(第2回)) 評価シート

評価項目:⑥イノベーション創出の可能性と創出に向けた取組計画の妥当性

<自己評価>

・最先端のデジタル技術を取り入れた技術基盤整備、地質環境変化の予測・評価技術を応用した自然災害予測技術の開発、超小型 AMS 開発など、「JAEA2050+」の実践と Society5.0 の実現に必要な、イノベーション創出に向けた取り組みを進める計画としている。

<評価の結果>

評価	<input type="checkbox"/> : 妥当 <input type="checkbox"/> : 要改善
コメント	

※<評価の結果>の評価欄のいずれかにチェックをいただき、その補足としてコメントをご記入をお願いします。

第4期中長期目標期間における研究開発の計画案
(事前評価(第2回)) 評価シート

評価項目: ⑦社会実装に向けた取組計画の妥当性(技術・知識基盤プラットフォームの構築・提供を含む)

<自己評価>

・NUMO との共同研究の枠組み等を通じ、NUMO との人材交流を進めるとともに、CoolRep(オンラインを活用した、読者の知りたい情報へのアクセスを支援する科学レポートシステム)として適宜成果の取りまとめを行い、円滑な技術移転を進める。また、世界初の「安価」、「放射線管理区域不要」、「前処理フリー」が可能な超小型 AMS の開発・実用化を進め社会実装を図る。

<評価の結果>

評価	<input type="checkbox"/> : 妥当 <input type="checkbox"/> : 要改善
コメント	

※<評価の結果>の評価欄のいずれかにチェックをいただき、その補足としてコメントをご記入をお願いします。

第4期中長期目標期間における研究開発の計画案
(事前評価(第2回)) 評価シート

評価項目: ⑧科学技術政策、社会的・経済的意義／ニーズへの適合性

<評価の観点に関する実績・成果及び自己評価結果>

・エネルギー基本計画、第4期中長期目標(案)、地層処分研究開発に関する全体計画、令和元年度の「幌延深地層研究の確認会議」において確認され、自治体から受け入れられた「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」、さらには原子力機構の取り組み方針等と整合した計画とした。

<評価の結果>

評 価	<input type="checkbox"/> : 妥当 <input type="checkbox"/> : 要改善
コメント	

※<評価の結果>の評価欄のいずれかにチェックをいただき、その補足としてコメントをご記入をお願いします。

第4期中長期目標期間における研究開発の計画案
(事前評価(第2回)) 評価シート

評価項目: ⑨研究開発課題／成果の社会的受容性(社会へ及ぼす影響度の想定)

<評価の観点に関する実績・成果及び自己評価結果>

・国のエネルギー政策の根幹であるエネルギー基本計画において、「国、NUMO、JAEA 等の関係機関が、全体を俯瞰して、総合的、計画的かつ効率的に技術開発を着実に進める。この際、幌延の深地層研究施設等における研究成果を十分に活用していく。」ことが明記されているなど、本研究開発の社会へ及ぼす影響はますます大きくなっていることから、これらを踏まえ社会実装を確実にを行う計画とした。

<評価の結果>

評価	<input type="checkbox"/> : 妥当 <input type="checkbox"/> : 要改善
コメント	

※<評価の結果>の評価欄のいずれかにチェックをいただき、その補足としてコメントをご記入をお願いします。

第4期中長期目標期間における研究開発の計画案
(事前評価(第2回)) 評価シート

評価項目: ⑩人材育成に関する取組の妥当性(原子力を担う人材、イノベーション・デジタル化を担う人材等)

<評価の観点に関する実績・成果及び自己評価結果>

・大学との共同研究や学生実習による受入れ、施設見学やウェブサイトの活用による研究成果情報の公開のほか、幌延の地下施設を活用した国際共同プロジェクトを通じた国内外の技術者や研究者の育成等をとおして、地層処分に関する国民との理解促進などを通じて人材育成を行うこととしている。

<評価の結果>

評 価	<input type="checkbox"/> : 妥当 <input type="checkbox"/> : 要改善
コメント	

※<評価の結果>の評価欄のいずれかにチェックをいただき、その補足としてコメントをご記入をお願いします。